

学研 おんがく通信

Web版も
あるよ

♪バックナンバーが
閲覧できる!
♪ウェブならではの
情報が満載!

4月号

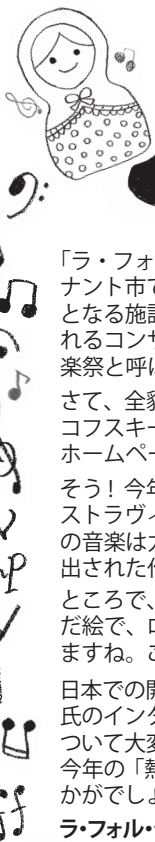
2012
年3月25日

Gakken

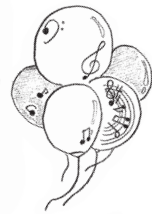
(株)学研パブリッシング 音楽出版事業室
〒141-8412 東京都品川区西五反田2-11-8
Tel. 03-6431-1220

学研 おんがく.net <http://gakken-publishing.jp/ongaku/> 学研 電子ストア <http://ebook.gakken.jp/gstore/>

こんにちは。新年度、新学期が始まるとうしていますね!ということは!!ゴールデンウィークも、すぐそこにつ!!大型連休中に開催される、「ラ・フォル・ジュルネ」。



ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 2012 「熱狂の日」音楽祭へ行こう!!



「ラ・フォル・ジュルネ」を知っていますか? フランスのナント市で、年に1度開催されるフランス最大級のクラシック音楽祭です。ナント市での成功を受けて、現在ではポルトガルやスペイン、日本など世界各地で開催されています。毎年テーマが指定され、会場となる施設内の複数のホールで、朝から晩まで、短時間のコンサートが一斉に開催されます。世界中から一流の演奏家を迎えて行われるコンサートは、コアな音楽ファンからクラシック初心者までが楽しめる充実した内容となっています。日本では「熱狂の日」音楽祭と呼ばれ、毎年大変な賑わいです。

さて、全貌を徐々に明かされる「熱狂の日」音楽祭ですが、イメージ画はごらんになりましたか? リムスキー=コルサコフ、チャイコフスキー、ラフマニノフ、ストラヴィンスキー、プロコフィエフ、ショスタコーヴィチの6人が、思い思いの表情で描かれています。ホームページの情報によると、旅を終えて駅のホームに降りたち、自作品が演奏される東京の演奏会へ向かう様子だそうです。

そう!今年のテーマは、ロシア音楽!題して、「サクル・リュス」=「ロシアの祭典」です。これは、三大バレエ音楽の作曲でも有名なストラヴィンスキーの「春の祭典(サクル・デュ・ブランタン)」にちなんでつけられました。ストラヴィンスキーをはじめ、ロシアの音楽は力強く、壮大さの中に叙情が溢れる、とても表情豊かな作品が多いですね。19世紀から現代までの激動のロシアで生み出された作品が次々と登場します!

ところで、イメージ画の中の汽車って何でしょう...? これはシベリア横断鉄道が登場する有名な小説『ドクトル・ジバゴ』にちなんだ絵で、ロシアの雄大な大地、そしてロシアの人々の開拓心を象徴しています。日本の会場となる東京国際フォーラムも登場していますね。この場所で前代未聞のロシア音楽の祭典が繰り広げられることを暗示しているようです。

日本での開催は、今年でナント!8回目です。創設者でもあり芸術監督のルネ・マルタン氏のインタビューによると、日本では「八」がおめでたい数字だと聞き、日本での開催について大変はりきっているそうです。「八」は末広がり、とても縁起の良い数字ですものね。今年の「熱狂の日」も盛り上がること間違いなし!みなさま、会場へ足を運んでみてはいかがでしょうか?(の)

ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」2012公式サイト → http://www.lfj.jp/lfj_2012/

ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン
「熱狂の日」音楽祭 開催地域
東京・金沢・新潟・大津・鳥栖

待ッテマヘス♪



独断と偏見に満ちた!? 春・花 といえは Music

春爛漫! 春といえは花咲く季節。そこで、編集部独断と偏見で「春」「花」にまつわる曲を選んでみました。いかがでしょうか? うなずける曲、ちょっと「?!」な曲...。皆さんにとっての「春の曲」「花の曲」も、ぜひ考えてみてください!

【ズバリ定番】すぐに思い出すのは...

- ヴァイオリン協奏曲《四季》 第1楽章「春」(A.ヴィヴァルディ)
- 《無言歌集》より「春の歌」(F.メンデルスゾーン)
- 花の歌 (G.ランゲ)
- ヴァイオリン・ソナタ「春」(L.v.ベートーヴェン)
- 《くるみ割り人形》より「花のワルツ」(P.I.チャイコフスキー)

華やかな気分になれますね♪

【こんな曲もあった!】

- 春に寄す (G.グリーグ)
- 喜歌劇《小鳥売り》より「桜の花の咲いた頃」(C.ツェラー)
- ピアノ協奏曲「メモ・フローラ」(吉松隆)

【忘れちゃいけない!】タイトルが「春」だった...

- バレエ音楽「春の祭典」(I.ストラヴィンスキー)
- まあ、こんな「春」もあり...?

NML (ナクソス・ミュージック・ライブラリー) で聴いてみてください! → <http://ml.naxos.jp/>

番外編《その1》
「花」で検索してみたら... (汗)
「しほめる花」の主題による
序奏と変奏曲 (F.シューベルト)

番外編《その2》
やっぱり日本人なら桜でしょ!
さくらさくら (日本古謡)
さくら (独唱) [森山直太郎] / さくら [ケツメイシ]
SAKURA [いきものがかり]

番外編《その3》
『ちいさなおんがくかい②』より
「おはなのにおい」(轟千尋)
★試聴できます!
<http://gakken-publishing.jp/ongaku/>

Anniversary! びあのどリーむ情報

来る2013年、「びあのどリーむ」シリーズは発刊20周年を迎えます。20歳、なんと成人式!これも、シリーズを愛してくださっているすべての皆さまの支えがあってこそ。そこで、メモリアル・イヤーとなる来年にむけて、皆さまに驚きかつ喜んでいただけるような「?」=Something(何か)をご提供できるよう、いろいろ考えているところです♪このコーナーでは、「びあのどリーむ」についての「小ネタ」(?)を掲載して参ります。どうぞお楽しみに!(か)

4月23日はプロコフィエフのお誕生日!

♪パレエ音楽《ロミオとジュリエット》のお話♪



- ♪ヘルベルト・フォン・カラヤン (オーストリア/指揮者/1908.4.5生)
- ♪アンドレ・プレヴィン (アメリカ/指揮者・ピアニスト・作曲家/1929.4.6生)
- ♪ジョン・ウィリアムズ (イギリス/クラシック・ギタリスト/1941.4.24生)
- ♪フランツ・レハール (オーストリア/作曲家/1870.4.30生)

今年はどういう訳か『ロミオとジュリエット』の大型の公演が2つもあります。さながら《ロミ&ジュリエット》の観があります。原作者の名前はウィリアム・シェイクスピア、いうまでもありませんね。あまりに偉大な劇作家です。

シェイクスピアが活躍した16世紀から17世紀にかけてはエリザベス朝演劇の時代と呼ばれ、西欧の演劇史上にこの時代を画しています。ただ、その時代、主に風紀上の理由からでしょうか、女性が舞台上に上がることは許されず、声変わり前の少年が女役を演じていました。そういうこともあってか、シェイクスピアの描く女性キャラクターは典型的だといわれることがあります。

しかし、そのなかで、ジュリエットだけはひととき魅力あふれる役柄として造形されています。それはそれはすばらしい。生きることがそのまま恋することであり、少女らしい精一杯の知恵と健気な勇気で筋書きの中の時間をわき目もふらずに駆け抜けていくのです。ジュリエットの台詞のひとつひとつが彼女のみずみずしい生の輝きとなってふりまかれていくかのようです。

そんな魅力に触発された音楽やオペラはいくつかありますが、その代表的な作品となると、まずはセルゲイ・プロコフィエフのパレエ音楽でしょう。たんに踊るための音楽としてだけでなく、原作の精髓を表現し尽くしている名曲です。作曲家にもおそらく愛着のある自信作だったのでしょう。自身の手で演奏会用の管弦楽曲に編曲し、さらにピアノ独奏用の組曲も編んでいます。ぜひ、いろいろなヴァージョンを聴いてほしいと思います。そして『ロミオとジュリエット』という世界遺産のような原作の世界にもいこうと参じてほしいと思います。

実は、プロコフィエフの誕生日は1891年の4月23日なのですが、奇しくもそれは1564年生まれのシェイクスピアの誕生日でもある可能性が強いのです。(え)

今月のあかね先生



『ちいさなおんがくかい』がiPhone&iPadアプリになります!...とあかね先生にお話したらお顔がにんまり。それもそのはず、担当者が言うのもナンですが、かわいいんです♪イラストが動いたり、iPhoneやiPadで曲が弾けちゃうピアノ・アプリです。そして、これまた謎だった動物たちの住みかが明かされます。動物たちが住んでいる村、その名も“どれみふあむら”。たくさんの音楽が溢れている“どれみふあむら”を探検していくストーリーになっています。お楽しみに☆(いも)

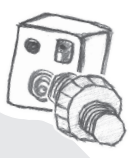
iPhone・iPadピアノ・アプリ
4月上旬公開予定!現在開発中!お楽しみに♡

UDAR



○うださんが作った新しい楽器

ウダー ~ 其の拾 ~



前回回、音階を区切る12面の区分のお話をしました。宇田さんの手作りウダーは、切り出したプラスチックで12面を持つ筒に螺旋状の溝を刻んで、導電ゴムが巻いてあります。この12面がどれだけ大事なもののか、そこは開発者の宇田さんにしかわからないのですが、彼はすでに世界で一人のウダリストとして、どんな演奏もこなしてしまうため、ほんの少しの筒状の変化を指で感じられます。しかし、ウダーに初めて触れる人には、12面がわかりにくいと、音程を定めることがほぼ不可能です。そのため、土台の筒自体を12面にすることを宇田さんに提案しました。宇田さんは12面の

筒には反対でした。というも、らせんの部分をなめらかに指が移動してはじめて、ピアノなどの鍵盤楽器にはできない、連続的な音程の変化が実現できるからです。筒自体が12面になってしまうと、指を動かす過程で凸凹が必要以上に感じられてしまうと考えたのでした。想像だけで話をしていてもわからないため、実際のさわり心地を確認する必要があります。しかし、そのためにプラスチックでおおがかりな試作を行なうことはできません。そこで、編集部では、とある試作を作って宇田さんに確認してもらうことになりました。(つづく)

?? レッスンQ&A ??

回答してくださったのは
伊能美智子先生

Q. 初めてピアノを教えます。新米指導者が気をつけなければならないポイントがありましたら教えてください。

A. まず初めに、生徒とのコミュニケーションを大切に、信頼関係を築くことを心がけていただきたいと思います。教えるという仕事は相手のあることですから。

先生ご自身が初めてピアノを習われたときのことを思い出していただくのも悪くないですね。どんなことが良くて、どんなことが嫌だったのか...? 今度は“教える”という反対の立場に立たれるわけですから、ご自身の経験が反面教師となって役に立つのではないのでしょうか。

一般的なところでは、以前「生徒が望む先生像」について簡単な調査をしたときのこと。希望の第1には「親切な先生」や「面倒見のいい先生」が挙がりました。「教えるのに熱心な先生」でも「教え方の上手な先生」でもなかったのです。

確かに、ピアノの勉強は主に“個人レッスン”ですから、教室の授業で大勢の生徒を相手にするのは違う、濃密な人間関係を維持する必要があります。

ですから生徒の性格、性質、ひいては家庭環境なども早目に把握し、できるだけ丁寧に親切に対応し、良好な関係を保つようにしたいですね。

なお、若い生徒の場合は、とくに保護者の方のお付き合いを大切にしてください。保護者の方の協力がなければ、レッスンはスムーズにできないからです。

これからはさまざまな事に突き当たるとはありますが、細かいことにあまりこだわらず、長いお付き合いを続けられるようになさってください。

つむりの練習手帳

つむりの発表会まであと少し。この前の土曜日は、発表会で借りるドレスを決めていました。見てないけど、つむりは「はずかしい」って言ってる。なんだかよくわかんない。曲のほうは、「てじなし」をあいかわずタネがバレそうにモタモタひいているのに、ステージにいる時間が短すぎるって、もう1曲ひくことになりました。写真をとる時間がないんだって。新しいのはマリなので、ひいたことのあるパステインの「朝の集合ラッパ」って曲です。がんばってほしいです。(くいしんほかつホホお兄)

つむり現在の楽譜

- ◎ギロック: こどものためのアルバム 発表会の曲 = 「手品師」
- ◎パステイン: ピアノ・バイシックス1 発表会の曲 = 「朝の集合ラッパ」
- ◎こどものハノン④

事務局のつむりちゃん! “音”ってなんだろう... “音楽”ってなんだろう... んー、ぐるぐる回って答えはでないけど、確かなのは“音楽”って“人の心に響くもの”。(@いも)

subuyaitter..... follow me!

twitter やってます! @gakken_music 日々のよしなしごとや最新情報をツイートしています!